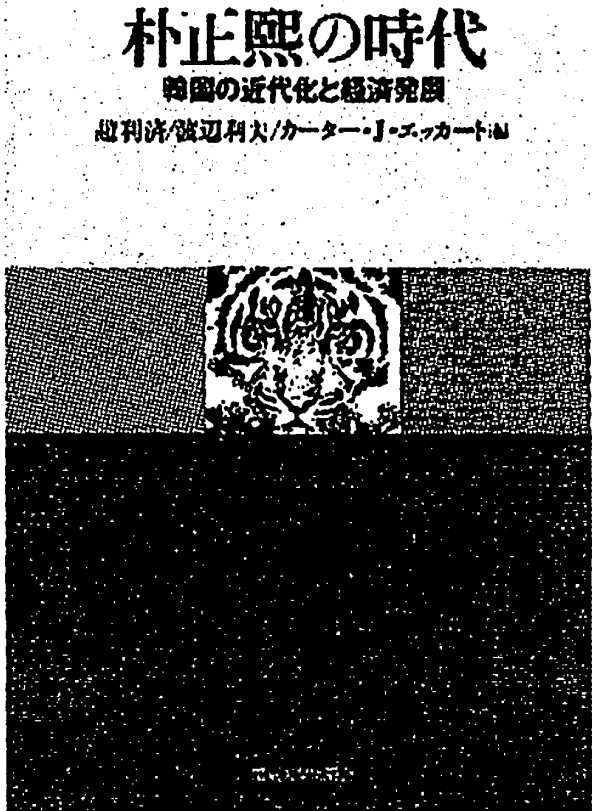


■朴正熙の時代 韓国の近代化と経済発展

趙利済、渡辺利夫、カーター・J・エツカート編
戦後の飢餓と貧困から脱却し、劇的な発展
を遂げた韓国経済。当時大統領として指揮し



た朴正熙の経
済政策を開発
経済学の視点
から分析した
論文集。

本書でいう

「時代」とは、朴正熙がクーデターを断行した1961年から、側近に暗殺された79年まで。この間、権威主義開発体制を強力なまでに推進し、経済的基盤を築き上げた。米国発の金融危機で大きく揺らぐ世界経済。現状の市場経済主義を再考するにあたり、朴正熙の考えの重要さを説いている。

編者の渡辺氏は甲府市出身。拓殖大学長、山梨総合研究所理事長などを務める。

(東京大学出版会・3990円)

2009年(平成21年)12月27日
山梨日日新聞より